

平成25年度鹿児島市商工業振興プラン推進会議 会議概要

日 時：平成26年3月24日（月）14:00-15:10

場 所：鹿児島市役所みなと大通り別館6階会議室A

参加者：委員9名（代理出席1名）

会次第：1. 開 会

2. 報 告（鹿児島市商工業振興プランの進捗状況等について）

3. 協 議

4. 閉 会

質疑応答要旨：以下のとおり

（委 員） 県中小企業団体中央会における、ものづくり補助や創業補助の制度は総投資額20億円で、ものづくりは102企業採択、創業は108企業採択され、350人の雇用につながっている。半分近くは市の企業等で本プランにも取組事業として掲載されるべきものだが、体系のすべてに関わってくるので、どこか一部分に掲載することが難しい取組である。

（委 員） 鹿児島大学における産学連携の取組は商品化されている件数か、商品を支える技術も含むかなど判断が難しく、今回は目に見えるものをカウントしている。

（委 員） ビジネスインキュベーションやかごしまデザインアワードの取組、コールセンター誘致の位置づけ、今後の消費税対策について教えてほしい。

（事務局） ビジネスインキュベーションは鹿児島相互信用金庫へ委託をし、新規起業者等の相談などの業務を行っている。

かごしまデザインアワードについては市外事業者が入賞している。市内事業者の技術等の養成が必要である。

コールセンターについては平成22年度は4件、以降毎年2件ずつ立地となっている。コールセンターは一度に多くの雇用を創出できるので、市でも「コールセンター魅力発見事業」として力を入れている。

消費税対策については、国等からきた情報を市民のひろば等情報媒体で広報したり、ちらしを配布するなどして、広報に力を入れている。また、中小事業者等からの相談については、国の窓口を紹介するなどしている。商工会議所等も相談窓口を設けていると伺っている。

また、本市においても3月に開かれた緊急経済雇用対策本部会議において、平成26年度は前倒しや早期発注するなど、反動減への対策を講じるように全庁に指示があった。

（会 長） 実績の記載の仕方にばらつきがあるのではないか。

（事務局） できるだけ実績が表示できるようにする。

（委 員） 大田区では全国の大学の研究情報を集めて、選定し、大田区内の企業へ情報を提供、大学へも企業の新しい情報をバックできるような新しい取組がなされている。他都市でも同様の事例があるので参考にしてほしい。

（質疑以上）